

ふれ愛ランドだより

～一年間を振り返って～ 第2号

令和5年3月15日発行
 栃木県立足利中央特別支援学校
 〒326-0005
 足利市大月町871-3
 TEL 0284-41-1185

今年度は新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、昨年度に比べ多くの行事や講座を実施することができました。限られた活動ではありましたが、登録ボランティアの方々、ボランティア講座生の方々にたくさんの御参加、御協力をいただきありがとうございました。

登録ボランティアの皆様には、みどり祭や持久走大会等の行事で御支援をいただきありがとうございました。皆様から温かい声援や御支援をいただき、児童生徒も成果を発揮して、活動に取り組むことができました。

ボランティア講座では、講話や体験、演習を通してたくさんの学びを共有し、26名の方に修了証をお渡しすることができました。さらに、講座での活動を通してボランティアや教材教具に興味をもってくださる方も多く、実り多い講座になりました。

来年度も、児童生徒の活躍を見守ってくださる支援者のお一人として、お力添えのほどよろしくお願いいたします。

❀令和4年度 ボランティア内容と参加人数❀

月日		内容	参加人数	
			登録ボランティア	受講生
5月	26日	体育祭（高等部）	15名	
6月	4日	運動会（小中学部）	18名	
7月	23日	第1回講座（講話：知的障がい児の理解と対応）		23名
9月	3日	第2回講座（講話：ボランティア活動とは） （体験：車椅子の扱い方について）		18名
10月	1日	第3回講座（体験：障害者の理解）		21名
	5日	ウォークラリー大会（重複）	7名	
11月	19日	みどり祭	14名	
	22日	第4回講座（足利街中ウォークラリー）	4名	14名
	30日	持久走大会（小3～6年）	5名	
12月	3日	第5回講座（今後のボランティア活動について）		19名
	8日	持久走大会（中学部）	6名	

一年間をふりかえって～受講生の感想～

私はボランティアという活動を少なからず「誰かのため、何かのため」と思ってしまう節がありました。しかし、今日の講座で「お互いに支え合い、学び合う活動」であるということを知ることができ大変勉強になりました。



つい使ってしまう「ちょっと待って」「そこにおいといて」など、こちらとしたら分かるだろうという決めつけを見直してみようと思いました。教材では、障害に合わせて先生方が工夫されていて素晴らしいと思いました。

車いすに初めて乗ったのですが、小さいでこぼこでも不快に感じました。たった2センチくらいの段差でも手や足に力を入れないと上げられないことに驚きました。

いろいろな種類の障害がある中で、知的障害が一番多く、増加しているということを初めて知った。また、伝言ゲームを言葉を使わずに伝えることはとても難しかった。実際に体験してみると、より難しさを実感した。その際に、身振りや表情の大切さも実感でき、障害者の方と接するとき実践してみたいと思った。



【講座の様子】

第1回講座「知的障がい児の理解と対応」



第3回講座「障害者の理解」



第2回講座「ボランティア活動とは」
「体験：車椅子の扱い方について」



第5回講座「今後のボランティア活動について」



～お知らせ～

小学部の給食配膳ボランティアを募集しています。

時間は、

①11時50分～12時20分

②11時50分～13時30分

③13時00分～13時30分 です。御相談ください。

御興味をおもちの方は、下記連絡先までお電話ください。

なお、連絡は平日の15時30分～17時にお願いいたします。



【連絡先】

栃木県立足利中央特別支援学校

電話：0284-41-1185

FAX：0284-42-7553

担当：生涯学習・ボランティア係 木村